

おにぎりの日 開催報告

【日時】 11月5日（月） 11時半～14時半

【場所】 パルシステム連合会 東新宿事務所2階 多目的ルーム

【主催】 パルシステム生消協 米部会（協力 パールライス東日本）

【参加産地・銘柄】 JA ささかみ（エコこしひかり）庄内協同ファーム（フードつや姫） ちば緑耕舎（エコこしひかり）花咲農園（フード秋田こまち）
JA みどりの（エコひとめぼれ）

【実績・収益】 予約チケット145枚 当日92セット
71,475円（1口300円以上のカンパ）

《概要》

生消協 米部会の5産地のお米を生産者がおにぎりを握りました。それぞれの産地のおにぎりを5個1セットにしたものを、1パック300円以上のカンパで職員が頂きました。

この「おにぎりの日」の目的は、パルシステムで働く人たち自ら産直を知り、産直米の美味しさを実感し、魅力を体感するための場として企画されました。おにぎりとお合わせて生消協産地である大紀コープファームの梅干、野菜くらぶのお漬物をセットにしてお渡し、お椀を持参した方には、ささかみの味噌と豆腐を使用した味噌汁も提供しました。

また、山本連合会理事長と各産地から1名座談会にご参加いただき、農業の現状について、交流の現状、意義についてお話いただきました。座談会には、連合会、パル東京、シータス&ゼネラルプレスの職員が参加し、約20分延長したにも係らず、多くの人が席を立つことなく真剣に耳を傾けていました。



《職員の感想等》

「おにぎりの日」開催後、事務局に寄せられた職員の感想は、次の通り。

- ・ 産直米は改めて美味しいと思った。ご飯だけで十分おなかいっぱいになるとが分かった。
- ・ 農と文化の深いお話、大変勉強になりました。おにぎり美味しかったです。
- ・ お米の背景にもっともっと伝えなくてはいけないことがあると、お話を聞いてますます考えさせられました。
- ・ 白いご飯だけでこんなに美味しいなんて！当たり前のように手に入るような気持ちになってしまいますが、お米は苦勞の結晶。
- ・ お話を伺いながら食べているうちに手にしたおにぎりが本当の宝物になっていきました。こんなに美味しいものを食べられる贅沢改めて認識しました。
- ・ 平成5年の米騒動で日本のお米を食べられることはありがたいことと実感しました。これからも食べます！！
- ・ おにぎり美味しかった！！もっと生産者と話をしたかった。



今回、初めての試みでしたが JA ささかみ 庄内協同ファーム、ちば緑耕舎、花咲農園、JA みどりの の皆さまにご協力いただいたおかげで、盛会なうちに終了することが出来ました。ご協力、ありがとうございました。また、パールライス東日本の皆さまにも、お米のご提供、マンパワーのご提供と多大なご協力を賜りました。この場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。生産者の感想も、是非、こういった企画を定着させていきたいというものでした。開催のスタイルなど課題はありますが、この企画を定着させていきたいと思っております。